

日本学生支援機構 予約採用候補者 説明資料

【注意】

ここで説明する手続きは、高校ですでに日本学生支援機構奨学金に申し込めし、採用候補者となっている新1年生向けのものです。ご注意ください。

1

日本学生支援機構 奨学金(給付奨学金・第一種奨学金・第二種奨学金)に高校で申し込みをし、採用候補者となっている学生向けの説明です。
(「令和4年度大学等奨学生採用候補者決定通知」という紙をお持ちの方が対象です)

この説明資料は、**新規で申込する方向けの説明ではありません。**

奨学金に新規で申込する方は、別途、各校舎教育支援課(越谷校舎所属の学生は学生課)ホームページに掲載しておりますので、そちらをご確認ください。

目次

1. はじめに
2. ころろがまえ
3. 奨学金の種類・用語の確認
4. 進学後の手続きの流れ
5. 決定通知の確認・提出物について
6. 進学届入力の注意点
7. 授業料減免の対象者の認定に関する申請書の提出について(給付奨学金のみ)

説明は、この流れで行います。
最初から最後までよく読んでください。

1. はじめに

- 奨学金は**学生本人が借りるもの**
- 自分の名義で借りるお金であることを自覚し、**学生本人が手続きすること**
- 大学等からの連絡に注意**してください
(「学籍番号@bunkyo.ac.jp」のGmail宛のメール、B!bb's、電話)
- 期限厳守**
(不測の事態で自分が損をしないよう手続きは余裕をもって行うこと)
- 採用後に各自

①奨学金は学生本人が借りるものです。親御さんではありません。

②そのため、奨学金に関わる全ての手続きは、学生であるあなた自身が自覚と責任をもって行ってください。

③大学や大学が奨学金業務を委託している業者、日本学生支援機構からの連絡にご注意ください。奨学金に係る各手続きに関する連絡は、メール(あなたの学籍番号@bunkyo.ac.jp宛に送信します)、B!bb's、お電話で行います。大学からのメールを見ない、知らない電話番号だから電話に出ない学生が多いです。しっかりとメール・電話を確認してください。

④期限は厳守してください。手続きには期限があります。必ず守りましょう。
また、不測の事態で自分が損をしないよう手続きは余裕をもって行ってください。

⑤採用後、年に数回奨学金説明会を行います。大学から連絡があった際は、必ず参加し、必要な手続きをとるようにしてください。

2. ころがまえ

▼日本学生支援機構 貸与奨学金は・・・

貸与制の奨学金であり、卒業後に、**学生本人が責任**をもって**返還**しなければいけません。

=つまり借金!

大学生活で、**奨学金は本当に必要ですか？**
もう一度考えてみてください。

日本学生支援機構 貸与奨学金は、卒業後、学生本人が責任をもって返還しなければいけません。
つまりみなさんの負債・借金になります。

大学生活で、奨学金は本当に必要ですか？
もう一度考えてみてください。
奨学金って言葉を使っているが、実質借金です。

2. ころがまえ

同じ月額を4年間借りた場合...

約150万～950万

の借金

(第二種は+利子分も返還)

奨学金を借りる金額にもよりますが、スライドの通り高額の借金となります。仮に、4年間で約150万借りた場合、月々約1万2,3千円返したとしても、すべて返しきるのに大体14年はかかります。

奨学金を借りたとしても、貸与金額を変えたり、在学途中で辞めることもできます。卒業後の負担が大きくなるように、本当に必要な金額を計算してから手続きをしてください。

奨学金を借りるのをやめたい場合は、所属校舎の教育支援課・学生課の窓口に出てください。

また、成績が悪いと奨学金が廃止、つまり貸与が途中で終了することになることも。奨学金は「学びたいのに経済的に困窮している学生のためにあるもの」ということも忘れないようにしてください。これは貸与も給付も変わりありません。

これより先は、次の資料を机の上に出して、照らし合わせながら自分がどれに当てはまるのか確認しながら読み進めてください。

①採用候補者決定通知(全員)



②貸与奨学金採用候補のしおり
給付奨学金採用候補のしおり



③本学からの資料(教育支援課HP掲載)

- A_今後の手続きの流れについて
- B_進学届入力下書き用紙
- C_進学届提出チェックリスト
- D_奨学金振込口座について(注意すること)

この説明では、以下の資料を使用します。

①令和4年度大学等奨学生採用候補者決定通知

決定通知を紛失した方は再交付願< https://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu-t/files/2022/03/2022_saikouhunegai.pdf >を印刷記入し、郵送してください。(振込開始時期は遅れます。)

②冊子「令和4年度貸与奨学生採用候補者のしおり」

(※貸与奨学金の採用候補者のみ)

冊子「令和4年度給付奨学生採用候補者のしおり」

(※給付奨学金の採用候補者のみ)

※日本学生支援機構から高校等を通して配布されている資料です。

(手元にない方はこちらから

→<<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/yoyakukouhosha/index.html>>)

③本学からの資料

教育支援課HPよりダウンロード<<https://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu-t/?p=15521>>

- A_今後の手続きの流れについて
- B_進学届入力下書き用紙
- C_進学届提出チェックリスト
- D_奨学金振込口座について(注意すること)



3. 奨学金の種類・用語の確認

給付奨学金

- 返還の必要がない給付型の奨学金
- 授業料減免とセットになっているもの

貸与奨学金

- 返還の必要がある奨学金
- 第一種奨学金(無利子)と第二種奨学金(有利子)がある

この通知は、奨学金、奨学生の学校への届出が前提です。既済しないよう大切に保管してください。
令和4年度大学等奨学生採用候補者決定通知【進学先提出用】

令和3年10月16日

登録番号: 9999901-100-00999 交付書種コード=F

学年: 2年 10期 出席番号: A000001

氏名: 学校用 姓: 名: 姓

〒9999901 9599999 独立行政法人日本学生支援機構

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	第一種奨学金	第二種奨学金	第一種奨学金	第二種奨学金
申込する	採用結果	採用結果	採用結果	採用結果

選考結果	貸与奨学金			
	第一種奨学金	第二種奨学金	第一種奨学金	第二種奨学金
採用結果	採用結果	採用結果	採用結果	採用結果

2. 採用候補者となった奨学金の内容

奨学金の種類はここに記載
※自分の手元にある決定通知を確認

提出物や決定通知に関する説明の前に、
ここで奨学金の種類や保証制度など、基本的なことをおさらいです。

●給付奨学金

- 返還の必要がない給付型の奨学金
- 授業料減免(高等教育の修学支援制度)とセットになっているもの

●貸与奨学金

- 貸与終了後に返還の必要がある奨学金
- 第一種奨学金(無利子)と第二種奨学金(有利子)がある

自分がどの奨学金の種類が採用候補になっているのかはお手元にある『令和4年度大学等奨学生採用候補者決定通知』の表面中段の選考結果を確認してください。

3. 奨学金の種類・用語の確認

貸与奨学金のみ

貸与奨学金の中でもさらに2種類

第一種奨学金 (無利子)

- 返還時に**利子がつかない**
- 自宅月額：2万、3万、4万、5万4千円※
自宅外月額：2万、3万、4万、5万、6万4千円※
- ※の最高月額選択には条件あり。決定通知に「**最高月額利用：不可**」とある人は、「進学届」入力時にそれ以外の月額から選びなおす！

第二種奨学金 (有利子)

- 返還時に**利子がつく**
- 実際に借りた金額+利子の金額を返還する
- 月額2万、3万、4万、5万、6万、7万、8万、9万、10万、11万、12万円

※貸与奨学金受給者のみ

第一種奨学金、第二種奨学金でスライドの通り、大きな違いがあります。

●第一種奨学金

- 返還時に利子がつきません。
- 自宅通学と自宅外通学(生計維持者のもとを離れて家賃を支払って生活している状態の者)によって、最高月額が変わります。
また最高月額を選択できるものには条件があります。
決定通知に『最高月額利用：不可』とある人は、「進学届」入力時に最高月額以外の月額から選び直します。

●第二種奨学金

- 返還時に利子がつきます。(実際に借りた金額+利子の金額を返還する)
 - 月額2万円～12万円で選択することができます。
- ※奨学金はあくまでも借金ですので、借りすぎにはご注意ください。

決定通知表面中段にあなたが採用候補となった奨学金の種類と種別があります。確認してみてください。

※選考結果の貸与奨学金の『併用貸与』に候補者決定となっている人は「第一種奨学金」「第二種奨学金」の両方を受け取れることを表しています。

3. 奨学金の種類・用語の確認

給付奨学金のみ

高等教育の修学支援新制度				
	給付型奨学金		授業料減免制度	
	採用区分の金額に応じて 毎月日本学生支援機構より振込		各学期ごとの授業料に対して減免	
	給付型奨学金（月額）		授業料減免額（年間）	
	自宅通学	自宅外通学	入学金	授業料
第Ⅰ区分 住民税 非課税世帯	38,300円 (42,500円)	75,800円	260,000円	約70万円 減免
第Ⅱ区分 非課税世帯 に準ずる2/3	25,600円 (28,400円)	50,600円	173,400円	約47万円 減免
第Ⅲ区分 非課税世帯 に準ずる1/3	12,800円 (14,200円)	25,300円	86,700円	約23万円 減免

※自宅通学の（）表記は、生活保護を受けている生計維持者と同居している人及び児童擁護施設等から通学する人の金額です。

※給付奨学金受給者のみ

給付奨学金の採用候補者の方は、スライドの区分に応じた金額の給付と授業料減免が行われます。

この修学支援制度は、給付奨学金と授業料減免がセットとなった支援です。学修意欲があるけれども家庭の経済状況が厳しく、修学が困難な学生を対象にしています。

日本学生支援機構の貸与奨学金との併用も可能ですが、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

支援区分や毎年支援を継続できるかは、年2回の審査(学力及び家計による適格認定)が行われ変化する可能性があります。

給付奨学金に減免にと、かなり手厚い支援となりますので、より厳しい学力基準や、家計基準などを満たす必要があります。

懲戒により退学処分となった、学業成績が芳しくなかったなどの場合は、給付奨学金を返還する必要が生じることもあるので、注意してください。

ケースによっては、取り消された年度の4月までさかのぼって、支援が取り消されることもあります。

素行や成績には十分注意し、勉強にも今まで以上に力を入れて取り組んでください。

3. 奨学金の種類・用語の確認

給付奨学金と
第一種奨学金併用者

■ 給付奨学金と第一種奨学金の併用について

新制度適用中は、第一種の貸与月額は調整・制限あり

※第二種奨学金は制限なし

第一種奨学金 貸与月額の調整	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 採用者	0円	0円
第Ⅱ区分 採用者	0円	0円
第Ⅲ区分 採用者	21,700円 ※(20,000円、30,300円) ※は生活保護世帯対象	19,200円

※給付奨学金と第一種奨学金併用者のみ

第一種奨学金との給付奨学金の併用の場合、第一種奨学金の月額が調整・制限されます。

例えば、給付奨学金の第Ⅰ・Ⅱ区分の採用者の場合、その支援区分である間は、第一種奨学金は0円に制限されます

支援区分や毎年支援を継続できるかは、毎年2回審査が行われ変化する可能性があるため、

たとえば、支援区分がⅠからⅢに変わったら、それまで0円になっていた第一種奨学金は、2万前後に調整されていきます。

3. 奨学金の種類・用語の確認

さらにもう1種類・・・

入学時特別増額貸与奨学金
(有利子)

- 入学時に1度のみ借りられる**一時金**
- 「国の教育ローン」に申込みをしたが、審査の結果、利用できなかった人が対象
- **返還の必要あり**
- 返還時に**利子がつく**
- 国の教育ローンを利用できなかった旨の「申告書等」の提出必要
- 10・20・30・40・50万円の中から選択

入学時特別増額貸与奨学金採用候補の方は決定通知に書かれています。

- ・入学時に一度のみ借りられる一時金
- ・日本政策金融公庫の「国の教育ローン」という制度に申し込んだけれども、かつ、収入の条件も合致していたが、審査の結果、利用できなかった人が対象
- ・返還時に利子がつきます。
- ・貸与金額は10・20・30・40・50万円の中から選択してください。

3. 奨学金の種類・用語の確認

貸与奨学金のみ

人的保証

- 連帯保証人と保証人を選任し、連帯して返還の義務を負う制度
- 条件に合致した人を選任し、その人に承諾を得る必要がある

機関保証

- 機関に一定の保証料を支払うことで、保証を得られる制度
- 保証料は、月々の奨学金から差し引かれる
- 機関が代わりに返還した場合、学生本人に一括請求が行われます。

※貸与奨学金受給者のみ

貸与奨学金(第一種奨学金、第二種奨学金)の採用候補者の方
万が一返還できない状況になった場合、代わりに返還をしてくれる、保証制度を選ぶ
必要があります。
すでに選択しているものが決定通知の表面中段に記載されています。

保証制度の違いはスライドをご確認ください。

4. 進学後の手続きの流れ

① 決定通知【進学先提出用】、その他必要書類を大学に提出

- 4月18日(月)までに所属校舎学生課・教育支援課窓口へ直接提出もしくは郵送提出(郵送の場合簡易書留・レターパックなどを使用すること。※必着)

② 4/8(金)～4/21(木)の期間に「進学届」を入力(インターネット)

- 提出書類受領後3日以内に、識別番号(ID・パスワード)をGmail(学籍番号@bunkyo)で配信

③ 4月下旬～5月上旬授業料減免に係る申請書Bibb'sアンケート※給付奨学金のみ

- 給付奨学金採用者のみ(※アンケート入力開始は、進学届を入力した方のみ)に後ほどGmailで連絡します)

④ 5月より振込開始予定

- 4、5月分をまとめて振込

⑤ 採用時説明会に参加、返還誓約書等(契約書類)の提出

- 期限まで書類の提出がない場合は、採用取消(振込済の金額を一括で返金)

⑥ 正式採用

13

①青色の決定通知【進学先提出用】は、4月18日(月)までに自分の所属校舎の学生課/教育支援課窓口または郵送にて提出してください。
また、一部の人は決定通知以外にも提出物があります。(次ページ以降参照)

② インターネットで進学届提出

決定通知を不備のない状態で提出した人だけに対し、進学届提出の際に必要な識別番号をGmail(学籍番号@bunkyo.ac.jp)で交付します。

ID・パスワードを使用し、4月21日(木)までに進学届を入力してください。(進学届の入力については次のページ以降参照)

決定通知を提出し、進学届をインターネットで入力しないと奨学金の受取はできません。

③ 給付奨学金を受ける方は、5月上旬までに授業料減免に係る申請書を

ビブス(大学のポータルサイト<<https://bibbs.bunkyo.ac.jp/>>)のアンケートで回答

※アンケート入力開始は、進学届を入力した方のみ)に後ほどGmailで連絡します。

④ 期日までに指定の手続きを完了すれば、5月振込開始

⑤、⑥ 振込開始後も必要な手続きがあるので、都度案内に従って対応しましょう。

5. 決定通知の確認・提出物について

この通知は、進学先、奨学金の学校への届出が必須です。決定しないよう大切に保管してください。

令和4年度大学等奨学生採用候補者決定通知【進学先提出用】

通知番号 9999991-100-00999 交付書類コード=F

学年 第2年 10月組

出席番号 A000001

氏名 学校用 真本 様

* 999999101 85999999 独立行政法人日本学生支援機構

1 申込内容及び選考結果

申込内容	第1種奨学金		第2種奨学金		第3種奨学金		第4種奨学金	
	希望する	採用有	希望する	採用有	希望する	採用有	希望する	採用有
進学先								
奨学金								

2 採用候補者となった奨学金の内訳について

奨学金の種類	第1種奨学金 (奨励型)	第2種奨学金 (奨励型)	第3種奨学金 (奨励型)	第4種奨学金 (奨励型)
採用有	採用有	採用有	採用有	採用有
採用有	採用有	採用有	採用有	採用有
採用有	採用有	採用有	採用有	採用有
採用有	採用有	採用有	採用有	採用有

【進学先提出用】のみ提出
切り取っておくこと
本人保管用は大切に保管

あなたの奨学金に関する
情報が記載されています

「決定通知」には、進学先提出と本人控えがあり、糊付けでセットになっています。

進学先提出用をこの先の指示に従って準備、提出します。

5. 決定通知の確認・提出物について

採用者決定通知書
＜裏面＞

【進学後記入欄】				
学務番号				
学部・学科				
(7桁数字)				
氏名				
進学の 連絡先 (Eメール)	住所	〒	〒	〒
	電話番号	-	-	-
	電話番号	-	-	-

1. 奨学金申込口座について（申請者の口座にチェック）

採用新卒者本人名義の奨学金（進学貯蓄）口座を金融機関に開設しました。

2. 給付奨学金について（給付奨学金の採用候補者となっている人は、上記のいずれの口座にチェック）

進学届にて「自他奨学」を選択します（入学日より自他奨学となるため）。

進学届にて「自他外奨学」を選択します（入学日より自他外奨学となるため）。
については、進学先の学校へ入学員において進学の進学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金
（入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込・必要」と印刷がある人は、次のどちらかの口座にチェック）

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
については、本欄に次のいずれの書類を添付して提出します。

① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」（本通知に同封の様式）
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
（圧着できずの場合は、申込書表裏が同封されている箱裏面のコピーも提出します。）

入学時特別増額貸与奨学金を辞退します（必要書類が揃えられなかった場合は含む）。

(2) 保証制度（人的保証）を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口座にチェック

進学保証人及び保証人を依頼する予定の方が**日本学生支援機構の定める条件に合致**することを確認し、進学保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾書を書きました。
 進学届の提出時に、保証制度全人的保証から機関保証に変更します（条件を満たす人に承諾を得られなかった場合は含む）。

消せないボールペンで
枠内の記入欄をすべて記入しましょう
**※住所は住民票にかかわらず
現在住んでいるところを記入
今書いてしまいましょう！**

ここの各チェックボックスについては
このあと説明・記入していきます！



決定通知裏面です。

住所欄は住民票にかかわらず、現在住んでいる住所を書いてください。
一人暮らしのひとはアパートの名前まで含めて記載してください。

5. 決定通知の確認・提出物について

給付奨学金のみ

採用者決定通知書
<裏面>

給付奨学金採用候補者のうち、
進学届で「**自宅外月額**」を
選択する者

2つ目にチェック☑

【進学後記入欄】

学籍番号			
学部・学科			
(フリガナ)			
氏名			
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒	
	電話番号	- -	携帯 電話番号 - -

1. 奨学金振込口座について (全真次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学日より自宅通学となるため)。

進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学日より自宅外通学となるため)。

については、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込」必要)

※給付奨学金受給者のみ

給付奨学生で**自宅外通学**を選択する方は、
決定通知裏面の2つ目「進学届にて『自宅外通学』を選択します」にチェックを入れてく
ださい。

また、別途必要書類があります。(次ページ参照)

※給付奨学金が採用となっている方で『自宅通学』を選択している方は1つ目「進学届
にて『自宅通学』を選択します)にチェックを入れてください。

5. 決定通知の確認・提出物について

給付奨学金のみ

給付奨学金採用候補者のうち、進学届で「**自宅外月額**」を選択する場合、決定通知とあわせて以下も提出

- ① 生計維持者と別居しており、学生本人の居住にかかる家賃が発生していることの証明書類（賃貸借契約書のコピーなど）の提出が必要
- ② 通学形態変更届兼自宅外証明書送付状

4月18日までに決定通知と一緒に提出！

自宅外月額は、日本学生支援機構の審査が終了してから、自宅外通学の金額が振り込まれます。証明書書類提出後も当面は、自宅通学月額が振込されることご注意ください。

17

※給付奨学金受給者のみ

給付奨学生で自宅外通学を選択する方は書類2点が追加が必要です。

- ① 生計維持者と別居しており、かつ、学生本人の居住にかかる家賃が発生していることの証明書類
(契約者または入居者として本人氏名の記載があるアパートの賃貸借契約書のコピーなど)

② 給付奨学金「通学形態変更届兼自宅外証明書送付状

<https://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu-t/files/2022/04/2022jasso_zitakugai.pdf>」(教育支援課HPよりダウンロード)

必要項目はすべて記入すること

→記入項目・見本<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu-t/files/2022/04/2022jasso_zitakugai_sample.pdf>

自宅外月額は、日本学生支援機構の審査が終了してから、自宅外通学の金額が振り込まれます。

- ①②の証明書類の提出後も当面の間は自宅通学月額が振り込まれるのでご注意ください。

5. 決定通知の確認・提出物について

貸与奨学金のみ

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

	給付奨学金 (注1)	第一種奨学金 (無利子) (注2)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件	成績区分：第1区分★ 社会的貢献を必要とする人	最高月額利用：可 障害学生奨励：対象		日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込 不要
申込時の選択内容 (注3)	貸与額 返還方式 保証制度 利率の決定方式	最高月額 所得連動返還方式 機関保証	月額120,000円 定額返還方式 機関保証	一時金500,000円 定額返還方式 機関保証
		利率見直し方式	利率見直し方式	

注1 給付奨学金の月額は「利用条件」欄に記載の「志願区分」、進学の学校の学費規模、授業料（国公立）及び通学距離（自宅通学・自宅外通学）により異なります。なお、志願区分は、定額の枠内により毎年10月に充てられます。
また、給付奨学金の支給区分は、★ 成績区分本人で生活保護受給者の世帯から進学する場合は、社会の貢献を必要とする人で授業料補助等から進学する場合は給付奨学金の月額は、月額は「採用候補者採用候補者のおしり」参照）に記載の（ ） 以内金額となります。
注2 給付奨学金の返還内容は「申込時の選択内容」に記載の内容は、「奨学金」の欄に併せて選択し、必ず「奨学金」の欄に併せて内容が確認し、その後は変更できない場合があります。
注3 第一種奨学金の貸与月額は、進学の学校の学費規模、授業料（国公立）及び通学距離（自宅通学・自宅外通学）により定まる金額（貸与奨学金採用候補者のおしり）参照）から「選択額」まで選択します。ただし、第一種奨学金の「機関保証」欄に「機関保証利用」を選択し、併せてお申し込みください。第二種奨学金は利用できません。（最高月額利用の上限）おしりの欄となります。また、給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額は調整されます。

【注意事項】
① 本通知に照会されている「給付奨学金採用候補者のおしり」又は「貸与奨学金採用候補者のおしり」を必ず読んでください。
② 裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、期限内に手続きをしてください。
③ 本通知を紛失した場合には、奨学金の申込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう気を付けてください。

決定通知表面「入学時特別増額貸与奨学金」日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込**不要**と記載されている場合

入学時特別増額貸与奨学金の受取にあたって、
その他必要書類はありません。
インターネットで進学届の手続きにより、一時金が受けられます。
(辞退も可能)

※貸与奨学金受給者のみ

決定通知表面中段の
日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込**不要**の方で、
入学時特別増額貸与奨学金を希望する人はインターネット上の進学届の手続きで受けられます。

なお、入学時特別増額貸与奨学金について、そもそも記載のない人は、一時金を受けられません。

5. 決定通知の確認・提出物について

貸与奨学金のみ

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

	給付奨学金 (注1)	第一種奨学金 (無利子) (注3)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件	支援区分：第Ⅰ区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象		日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要
申込時の 選択内容 (注2)	貸与額	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
	返還方式	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式
	保証制度	機関保証	機関保証	機関保証
	利率の算定方法	*****	利率見直し方式	利率見直し方式

注1 給付奨学金の月額は「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学先の学校の学校種別、設置者（国公私）及び通学形態（自宅通学・自宅外通学）により異なります。なお、支援区分は、家計の状況により毎年度10月に見直されます。

また、給付奨学金の支援区分に「◆」印がある人で生活保護世帯の自宅から通学する場合、又は、社会的養護を必要とする人で通学する場合の給付奨学金の月額は、月額表（「給付奨学生採用候補者のしおり」参照）に記載の（ ）内の金額になります。

注2 貸与奨学金に係る「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学届」の提出時に改めて選択し直すことができます（「進学届」の提出後は変更できない等の制限が発生することがあります）。

注3 第一種奨学金の貸与月額は、進学先の学校の学校種別、設置者（国公私）及び通学形態（自宅通学・自宅外通学）により異なります（「進学届」参照）から「進学届」にて選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用：不可」と記載されている場合は、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用：可」と記載されている場合、他に提出する書類があります！（次ページ参照）

入学時特別増額貸与奨学金を希望する人で

（決定通知表下段にある日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込必要）
と記載されている場合、他に提出する書類があります！（次ページ参照）

※貸与奨学金受給者のみ

入学時特別増額貸与奨学金を希望する方で、
決定通知表面中段の

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込必要とある人も別途提出書類があります。（次ページ参照）

5. 決定通知の確認・提出物について

貸与奨学金のみ

「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込**必要**」と決定通知に記載があり、入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は、

- ・進学前に日本政策金融公庫の手続きが済んでいること及び
- ・**①・②の書類を提出**することが必要

① 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

② [融資できない旨を記載した]日本政策金融公庫発行の通知文のコピー

4月18日(月)までに決定通知と一緒に
所属校舎の学生課・教育支援課の窓口に直接提出ま
たは郵送にて提出!

20

※貸与奨学金受給者のみ

「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込**必要**」と記載のあり、入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は、以下、2点の書類が必要です。

① 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

教育支援課HPよりダウンロード<<https://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomut/?p=15521>>

② [融資できない旨を記載した]日本政策金融公庫発行の通知文のコピー

5. 決定通知の確認・提出物について

前ページ記載の入学時特別増額貸与奨学金
の必要書類が提出できる場合のみ

一時金を受けられる

条件に当てはまり一時金を希望する方は「入学時特別増額貸与奨学金を利用します。」にチェック☑

決定通知と一緒に①入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書、②[融資できない旨を記載した]日本政策金融公庫発行の通知文のコピーを提出

採用者決定通知書
<裏面>

貸与奨学金のみ

氏名					
進学後の連絡先(本人)	住所	〒			
	電話番号	-	-	携帯電話番号	- -

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。

ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。

- ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)
- ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
(印字はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)

入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類が揃えられなかった場合を含む)。

※貸与奨学金受給者のみ

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込必要の方のうち、必要な書類①②をすべて提出可能で、入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は決定通知の裏面のあてまる項目にチェックを入れ決定通知と一緒に提出書類2点を所属校舎の学生課・教育支援課に提出してください。

5. 決定通知の確認・提出物について

採用者決定通知書
＜裏面＞

貸与奨学金のみ

入学時特別増額貸与奨学金を

- ・辞退する場合
 - ・①・②の書類が提出できない
- 一時金は受けられない

「入学時特別増額貸与奨学金を辞退します」にチェック

決定通知のみ提出

氏名					
進学後の連絡先(本人)	住所	〒			
	電話番号	-	-	携帯電話番号	- -

1. 奨学金振込口座について (全員の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金
 (入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の『国の教育ローン』の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
 (圧着ががきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)
 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します (必要書類が揃えられなかった場合を含む)。

22

※貸与奨学金受給者のみ

「日本政策金融公庫『国の教育ローン』の申込：必要」と印字があるもので、入学時特別増額貸与奨学金を辞退する者、①②の書類が提出できない者は「入学時特別増額貸与奨学金を辞退します」にチェックを記入してください。

①決定通知【進学先提出用】、その他必要書類を大学に提出

- 4月18日(月)までに所属校舎学生課・教育支援課窓口へ直接提出もしくは郵送提出(郵送の場合簡易書留・レターパックなどを使用すること。※必着)

②4/8(金)～4/21(木)の期間に「進学届」を入力(インターネット)

- 提出書類受領後3日以内に、識別番号(ID・パスワード)をGmailで配信
※識別番号の通知は4月8日以降になります。

③4月下旬～5月上旬授業料減免に係る申請書B!bb'sアンケート※給付奨学金のみ

- 給付奨学金採用者のみ(※アンケート入力開始は、進学届を入力した方のみ(後ほどGmailで連絡します))

④5月より振込開始予定

- 4、5月分をまとめて振込

⑤採用時説明会に参加、返還誓約書等(契約書類)の提出

- 期限まで書類の提出がない場合は、採用取消(振込済の金額を一括で返金)

⑥正式採用

23

決定通知受領後のスケジュールについて

②インターネットで進学届提出

決定通知を不備のない状態で提出した人だけに対し、進学届提出の際に必要な識別番号をGmail(学籍番号を使用した大学のメールアドレス)で交付します。

識別番号を受領したら、4月21日(木)までに進学届を入力してください。

決定通知を提出し、進学届をインターネットで入力しないと振込がされません。(詳細次ページ以降)

6. 進学届入力 of 注意点

- 進学届入力下書き用紙に記入



- 大学識別番号 (IDとパスワード) を交付
※ 決定通知受理後3日以内にGmail (学籍番号@bunkyo.ac.jp) で通知

- 進学届提出用ホームページにアクセスし、
下書き用紙に沿って「進学届」を入力し、提出



- 入力期限 **4月21日(木)23:59まで**(5月16日初回振込)

24

・進学届入力下書き用紙は、教育支援課HPよりダウンロード
<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomut/files/2022/02/B_2022sinngakutodoke_sitagaki.pdf>

・決定通知を受理後3日以内を目安に、識別番号 (IDとPASS) を大学のGmailに送ります。
進学届を入力後は一切訂正ができないため、入力ミスをしないうにするための下書きが必要です。

4月21日(木)23:59までにインターネット上で「進学届」を入力・提出してください。

・下書き用紙を準備して、次ページ以降の説明に従って今記入をしてください。

6. 進学届入力 の 注意 点

① 卒業 予定 年月 ・ 修業 年限 を 正しく 記入 ・ 入力 ※ 2022 年度 入学 者は 以下 全員 同様

- 卒業 予定 年月 : 2026 年 3 月
- 修業 年限 : 4 年 0 か 月

進学届下書き用紙5ページに
正しく記入してください

B-あなたの進学した大学（学校）情報 2/8画面

以下、一つ、内容を確認し、記入してください。特に、「卒業年度」、「17卒業予定月」及び「18キ
ンク入学」は間違えやすいため、必ず確認してから入力してください。

1. あなたの学校名は です。 1. はい いいえ
「はい」を選択する
と印刷されます。

2. あなたの学号（学生証）番号を記入してください。 2.

3. あなたの入学した年度（月）は、17年度（17年3月）です。 3.

（注）17年度：入学時に入学した年度の属する年と入力してください。

4. 入学理由を選択してください。 4. 専攻科進学 専攻科進学 専攻科進学 専攻科進学
5. あなたの入学予定月を記入してください。 5. 西暦(4桁) 2022 年 4 月 入学
入学予定月(西暦) 年4月以外の場合は、
入学予定月(西暦) 年 月 日 入学予定

6. あなたの卒業予定月を記入してください。 6. 年 月 日
卒業予定月(西暦) 年 月 日 卒業予定
卒業予定月(西暦) 年 月 日 卒業予定
卒業予定月(西暦) 年 月 日 卒業予定

年度	17年度	18年度	19年度	20年度
卒業予定月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月

※ 入学時(入学)の卒業予定月を記入してください。
※ 入学時(入学)の卒業予定月を記入してください。4年0か月としてください。
※ あなたの卒業予定月を記入してください。4年0か月としてください。
※ あなたの卒業予定月を記入してください。4年0か月としてください。

※ 入学時(入学)の卒業予定月を記入してください。4年0か月としてください。
※ あなたの卒業予定月を記入してください。4年0か月としてください。
※ あなたの卒業予定月を記入してください。4年0か月としてください。

5

2022年度入学の方は全員同じです。

- ・ 卒業 予定 年月 : 2026 年 3 月
- ・ 修業 年限 : 4 年 0 か 月

入力誤りの無いよう、記入・入力をしてください。

6. 進学届入力の注意点

② キャンパス住所を正しく入力

キャンパス	越谷	湘南	東京あだち
郵便番号	343-0804	253-0007	121-0061
住所	越谷市南荻島3337	茅ヶ崎市行谷1100	足立区花畑5-6-1

進学届下書き用紙6ページに
正しく記入してください

26

自分が所属(通学)しているキャンパスの住所を入力してください。

越谷キャンパス

- ・教育学部
- ・文学部
- ・人間科学部

湘南キャンパス

- ・情報学部
- ・健康栄養学部

東京あだちキャンパス

- ・国際学部
- ・経営学部

6. 進学届入力 の 注意 点

③住所欄には現住所を正しく入力

※もし、予約申込時にマイナンバーを提出していない場合は住民票住所

- 住所1は自動表示
- 住所2は番地以降を入力(全角)

進学届下書き用紙21ページに
省略せずに正しく記入してください

27

住所は郵便番号を入力すると自動的に『住所1(番地の前まで)』が表示されます。
『住所2(番地以降)』を入力する時は住所1の記載内容に重複しないように、
注意してください。

6. 進学届入力の注意点

貸与奨学金のみ
※人的保証選択者

⑤ 連帯保証人・保証人を正しく選任

※貸与奨学金で人的保証を選択した方

- 条件に合致した人を選任
- 連帯保証人・保証人を引き受けることの承諾を得ること

「採用候補者のしおり」
11ページをひらいてください

28

※貸与奨学金で人的保証を選択している方のみ

人的保証を選ぶ方は、連帯保証人と保証人の両方を選任する必要があります。
当事者に印鑑登録証明書を提出していただく必要もあるので、本人の承諾を得た上で選任してください。

【連帯保証人(1名)】

奨学金の返還について奨学生本人と同等の責任を負い、奨学生が返還しないときは、その全額を返還しなければならない。

【保証人(1名)】

奨学生本人と連帯保証人が奨学金を返還しないときはそれらに代わって、返還しなければならないが、返還すべき金額が請求額の2分の1であることが主張できる

それぞれ選出の条件があります。(詳細次ページ)

6. 進学届入力 の 注意点

貸与奨学金のみ
※人的保証選択者

⑤ 連帯保証人・保証人を正しく選任
※貸与奨学金で人的保証を選択した方

- 連帯保証人: 父 または 母
- 保証人: 父・母以外
65歳未満
4親等以内の親族(おじ・おば等)
生計を別にしている

「採用候補者のしおり」
12ページを確認すること

29

※貸与奨学金で人的保証を選択している方のみ

連帯保証人・保証人の選出条件はスライドの通りです。
より詳しい選出条件は、採用候補者のしおり12ページに書かれてありますのであわせて確認してください。

連帯保証人・保証人が決定している方は、進学届下書き用紙22ページに記入をして下さい。

なお、ここでの住所は印鑑登録証明書記載の住所です。(保証人の方に印鑑証明書の住所を確認しましょう。)

未選出の方は、選出後に進学届を提出するか、機関保証に変更をしてください。
※保証制度の変更については進学届下書き用紙の19ページをご覧ください。

6. 進学届入力の注意点

連帯保証人・保証人の条件は合致して
ますか？

選任する方の承諾は得られましたか？

(2)保証制度(「人的保証」を選択
している人)

該当する方にチェック☑

貸与奨学金のみ

【進学届記入欄】			
学籍番号			
学部・学科			
(フリガナ)			
氏名			
進学届の 連絡先 (本人)	住所	〒	
	電話番号		
		携帯 番号	

1. 奨学金申込口座について (※真次の口にチェック)

採用候補者本人名義の専連預金(産別貯蓄)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅再進学」を選択します(入学者より自宅再進学となるため)。
 進学届にて「自宅再進学」を選択します(入学者より自宅再進学となるため)。
については、進学先の学校へ入学者において自宅再進学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 大学特別増額貸与奨学金
(大学特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本学生支援機構の「国の教育ローン」の申込、応募」と同等である人は、次のどちらかの口にチェック)

大学特別増額貸与奨学金を利用します。
については、本欄に次のような書類を添えて提出します。
① 「大学特別増額貸与奨学金に係る申込書」(本通知に同封の様式)
② 納付できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文の写し
(国庫はがきの場合は、申込書並に同封されている宛先票の写しも提出します)。
 大学特別増額貸与奨学金を併用します(応募書類が課税されなかった場合を指す)。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している借学者がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から承諾を引寄せた旨の承諾書を書きました。
 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から承諾を引寄せた旨の承諾書を書き、かつ、連帯保証人及び保証人の承諾書を書きました。
なかった場合は、この欄を空欄にしてください。

※貸与奨学金で人的保証を選択している方のみ

決定通知の裏面下部の保証制度へのチェックも忘れずに。

保証制度を変更する際は、所属校舎の学生課・教育支援課にお申し出ください。

6. 進学届入力 の 注意点

貸与奨学金のみ

⑥ 返還方式を選択(第一種奨学金のみ)

- 毎月定額で返還(定額返還方式)
- 年収に応じて返還月額が変動(所得連動方式)
→機関保証にしてください。

「採用候補者のしおり」
21ページを確認すること

31

※貸与第一種奨学金のみ

第一種奨学金の方は返還方式を選択できます。
スライドで返還方式を確認し下書き用紙の11ページに記載をしてください。

なお、所得連動方式を選んだ場合は、必ず機関保証の選択が必要です。

6. 進学届入力 of 注意点

⑦ 本人名義の普通預金口座を指定

- 学生本人以外の口座は指定できない
- 通帳・カードをよく確認し、口座情報を正しく入力
- 休眠口座になっていないか確認(振込できない)

進学届下書き用紙24ページに
省略せずに正しく記入してください

32

下書き用紙24ページでは、奨学金の振込口座情報を入力が必要です。

スライドの注意事項を確認し、口座情報は正しく入力してください
正しい口座情報を入力しないと、振込が遅くなってしまいます。

6. 進学届入力 の 注意 点

決定通知裏面
「1. 奨学金振込口座について」に
チェックをいれる

本人名義の口座がない場合は、
至急開設すること

【取扱可能な金融機関】

ゆうちょ銀行の通常貯金口座、銀行、
信用金庫、労働金庫または信用組合
(一部除く)

【進学後記入欄】

学籍番号			
学部・学科 (フリガナ)			
氏名			
進学者の 連絡先 (本人)	住所	〒	
	電話番号		携帯 電話番号

1. 奨学金振込口座について (必ず入力してください)

採用経路者本人名義の普通預金 (通帳貯金) 口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用経路者となっている人は、必ず最低1つの口を選択)

進学届にて「自宅進学」を選択します (入学月より自宅進学となるため)。
 進学届にて「自宅外進学」を選択します (入学月より自宅外進学となるため)。
 ついては、進学者の学校へ入学月において自宅外進学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金
 (入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込(必要)と申学がある人は、次のどちらかの口を選択)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
 ついては、本欄に次の点の書類を添えて提出します。
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
 (注書が付きの場合は、申込者氏名が印字されている地名面のコピーも提出します)。
 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します (必要書類が揃えられなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口を選択)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します (条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

決定通知の裏面の口座開設へのチェックも忘れずに。

6. 進学届入力 of 注意点

進学届入力時に変更可能な項目

<貸与>

- ・一部の奨学金のみの辞退
- ・本人生年月日
- ・性別
- ・貸与月額
- ・入学時特別増額貸与奨学金の金額
- ・利率の算定方法
- ・保証制度
- ・奨学金振込口座
- ・返還方式

<給付>

- ・一部奨学金の辞退
- ・本人生年月日
- ・性別
- ・奨学金振込口座

貸与採用候補者のしおり
5ページ
給付採用候補者のしおり
5ページ参照

34

予約採用の方でも、進学届入力時にスライド記載の項目については変更が可能です。

進学届の提出に際し、

- A_今後の手続きの流れについて
- B_進学届入力下書き用紙
- C_進学届チェックリスト
- D_奨学金振込口座について

をよく確認し、**4月21日(木)23:59までに**
パソコンで入力・提出処理を完了すること。

35

諸注意事項をしっかりと確認し、
進学届下書き用紙の他の項目についても事前に記入しておきましょう。

提出書類を発送後、4日を過ぎても、大学から進学届のID・パスワード交付のメールが届かない場合は、
教育支援課まで必ずお問い合わせください。(週末をはさむ場合や郵便事情により4日以上かかることも想定はされます。)

7. 授業料減免の対象者の認定に関する申請書の提出について

給付奨学金のみ

**給付奨学金受給者の方は、
決定通知送付後にBibbs（大学ポータルサイト）のアンケート画面から「授業料減免の対象者の認定に関する申請書」の提出が必要です。**

準備ができ次第、別途入力開始の連絡をします。
連絡が来たら速やかにBibbsのアンケート画面から回答を入力してください。

36

※給付奨学金のみ

給付奨学金と授業料減免は基本的にセットです。

給付奨学金の採用候補者の方には、授業料減免対象者の認定に関する申請書を提出していただきます。

決定通知などの必要書類を提出した方には、別途連絡しますので、お含みおきください。

①決定通知(進学先提出用)、その他必要書類を大学に提出

- 4月18日(月)までに所属校舎学生課・教育支援課窓口へ直接提出もしくは郵送提出(郵送の場合簡易書留・レターパックなどを使用すること。※必着)

②4/8(金)～4/21(木)の期間に「進学届」を入力(インターネット)

- 提出書類受領後3日以内に、識別番号(ID・パスワード)をGmailで配信

③4月下旬～5月上旬授業料減免に係る申請書B!bb'sアンケート(給付奨学金のみ)

- 給付奨学金採用者のみ(※アンケート入力開始は、進学届を入力した方のみに後ほどGmailで連絡します)

④5月より振込開始予定

- 4、5月分をまとめて振込

⑤採用時説明会に参加、返還誓約書等(契約書類)の提出

- 期限まで書類の提出がない場合は、採用取消(振込済の金額を一括で返金)

⑥正式採用

スライド黄色の項目が、まず始めにみなさんにやっていただく必要のある作業です。授業開始後、充実した学生生活が送れるように期日までに滞りなく手続きをお願いします。

【決定通知等提出書類送付先】

直接提出

所属校舎の学生課・教育支援課窓口
(平日9:10～16:30、土曜9:10～11:30)

もしくは

郵送提出

・越谷校舎所属学生(教育学部・人間科学部・文学部)

〒343-8511

埼玉県越谷市南荻島3337

越谷学生課 奨学金担当宛

・東京あだち校舎所属学生(国際学部・経営学部)

〒121-0061

東京都足立区花畑5丁目6-1

東京あだち教育支援課 奨学金担当宛

・湘南校舎所属学生(情報学部・健康栄養学部)

〒253-8550

神奈川県茅ヶ崎市行谷1100

湘南教育支援課 奨学金担当宛